

Panaracer

製品情報ファイル

RAIR、XAIR、グリーンライト、エキストラライトなどのレース専用軽量チューブの使用上の注意：

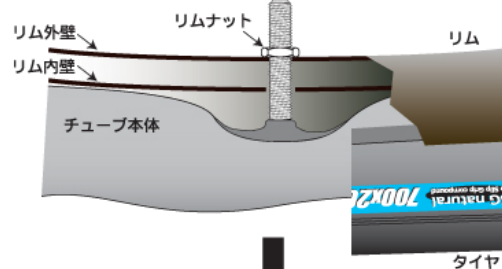
上記軽量チューブはレース用に「厚み」をスタンダードチューブと比較して薄く設計しています。ホイールへの取り付け、取り外しには注意が必要です。特にディープ系リムでは取り付け手順を誤るとバーストパンクを起こす危険性があります。※ここでは特に重要なポイントのみをお知らせ致します。取り付け取り外しの詳しい手順は製品の取扱説明書を十分読み正しく作業を行ってください。

●取り付け時の注意：

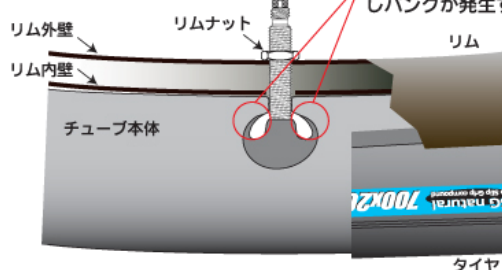
1. タイヤビード部とリムの間にチューブを噛まないように必ずチェックしてから装着してください。
2. 特にバルブ付近でかませやすくなるので念入りにチェックしてください。
3. 装着時に一度バルブをタイヤ側に押し込んでかませないようにしてからタイヤをリムに装着し、その後、エア充填前にバルブを引っ張り出す作業（下図参照）を必ず行ってください。
※特にディープ系リムではこの作業は重要です。もし、バルブを引っ張り出さないでエア充填を行うと、チューブバルブのベース部分がリム底に密着しないままチューブが膨張し、ベース部分に無理な力が加わりバーストまたはパンクする恐れがあります。
4. エア充填はいきに行わずタイヤの局所的な膨張などの異状がないかを確認しながら、ゆっくりと加圧してください。
5. バルブにリムナット用のネジ切りがある場合は、必ずリムナットを使用してください。
※リムナットを締める時は、スパナ等の工具は使用せずに指でしっかりと締めるようにしてください。
6. 装着後、バルブが斜めになっている場合は、装着を最初からやり直してまっすぐになるように修正してください。
バルブキャップは必ず使用してください。

■仏式ロングバルブベースの透視図

■バルブベースの引き抜きが不足の場合：



■引き抜きが不足の状態では空気を入ると……



バルブベース近辺でチューブが局所的な異常膨張、変形を起こしパンクが発生する。

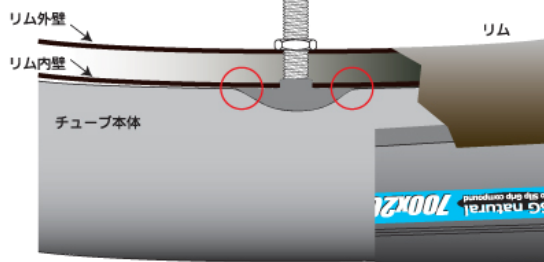
●取り外し時の注意：

1. 必ず「タイヤレバー」を使用してください。ドライバーやベンチのグリップ部等での代用は絶対にしないでください。
2. チューブをタイヤから外す時、タイヤ裏側にチューブが密着している場合がありますので、その時はゆっくりと剥がしてください。無理に引っ張るとチューブが破れたりバルブベースを傷めたりします。

●その他の注意：

1. チューブはパンク修理の際など、タイヤから外した状態で少量でも不用意にエア充填を行うと、局所的にコブのような膨らみがでる場合があります。ゴムの厚みが完全には一定ではないために起こる現象ですが、性能や安全性には支障はありません。但し、その状態でエアを入れ過ぎると破裂またはチューブを傷める恐れがありますので、入れ過ぎないように十分注意してください。特に、軽量チューブはゴムの厚みが極薄ですのでさらに注意が必要です。

■バルブベースの引き抜きが正常の場合：



タイヤ